

平成 2 5 年第 1 回定例会（2 月議会）
建設部 提出資料

建設委員会

【補正予算関係】

○ 建設政策課	平成 2 5 年 2 月補正予算案の 概要について（建設部）	1
○ 道路課	平成 2 5 年 2 月補正予算案の 概要について（道路課）	2
○ 道路課	平成 2 4 年度道路除雪事業費の補正について	3
○ 河川砂防課	平成 2 5 年 2 月補正予算案の 概要について（河川砂防課）	4
○ 港湾空港課	平成 2 5 年 2 月補正予算案の 概要について（港湾空港課）	5
○ 港湾空港課	平成 2 4 年度空港維持管理費（除雪費）の補正について . . .	6
○ 建築住宅課	住宅リフォーム推進事業の債務負担行為の設定について . . .	7

【所管関係】

○ 道路課	トンネル内の附属物点検について	8
-------	---------------------------	---

平成25年2月補正予算案の概要について

平成25年2月13日
建設部

1 一般会計

(1) 補正予算 $\Delta 1,824,982$ 千円

①公共事業 $1,015,530$ 千円

事業名	事業費	事業内容
国道道路補修事業	167,000	国道105号(新牛滝橋)
地方道路交付金事業	368,000	国道103号(葛原バイパス)等
地方道路道路災害防除事業	85,000	県道杉沢上小阿仁線(小深沢橋)等
広域河川改修事業	53,300	田沢湖(護岸工)
海岸浸食対策事業	41,500	本荘港(離岸堤)
重要港湾改修事業	198,140	秋田港(防波堤)
国直轄河川事業負担金	29,000	
国直轄港湾事業負担金	73,590	

②道路等の除雪費 $776,293$ 千円

③国庫支出金の内示や事業費の確定 $\Delta 3,575,598$ 千円

④その他(給与費) $\Delta 41,207$ 千円

(2) 繰越明許費 $23,224,480$ 千円

地方道路交付金事業、広域河川改修事業、県単河川改良事業等

(3) 債務負担行為 $1,435,513$ 千円

事業名	事業費	事業内容
あきた安全安心住まい推進事業	1,412,306	補助金及び受付事務に必要な経費
道路台帳管理事業 等	23,207	道路台帳の管理に必要な経費 等

2 特別会計

(1) 補正予算 $\Delta 180,247$ 千円

事業名	事業費	事業内容
能代港エネルギー基地建設用地整備事業	$\Delta 810$	決算見込みによる
下水道事業	$\Delta 154,876$	決算見込みによる
港湾整備事業	$\Delta 24,561$	決算見込みによる

(2) 繰越明許費 $473,633$ 千円(下水道事業、港湾整備事業)

(3) 債務負担行為 $32,000$ 千円(港湾荷役機械保守点検業務委託)

平成25年2月補正予算案の概要について

平成25年2月13日
道 路 課

1. 補正予算の概要について

国の「経済危機対応・地域活性化予備費」を活用した大規模災害に備えた防災・減災対策等として、橋梁の老朽化対策、社会資本整備を推進する。

2. 事業の内訳について

(金額単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	事業箇所及び箇所数
国道道路補修事業	167,000	橋梁補修(舗装、防護柵取替、地覆補修等)	国道105号北秋田市新牛滝橋工区
地方道道路災害防除事業	85,000	橋梁補修(舗装、防護柵取替、地覆補修等)	(主)男鹿半島線男鹿市芦の倉橋工区 外2箇所
地方道路交付金事業(改築)	368,000	道路改良、橋梁整備(盛土工、橋脚工等)	国道103号大館市葛原バイパス工区 外3箇所

3. 主な事業内容について



○橋梁補修[国道105号新牛滝橋工区]
(全景)



○橋梁補修[国道105号新牛滝橋工区]
(橋面補修、地覆補修による長寿命化対策)



○道路改良[国道103号葛原BP]
(盛土前全景)



○橋梁整備[角館六郷線斉内川橋工区]
(整備前全景)

平成24年度道路除雪事業費の補正について

平成25年2月13日
道 路 課

1. 降積雪及び除雪状況

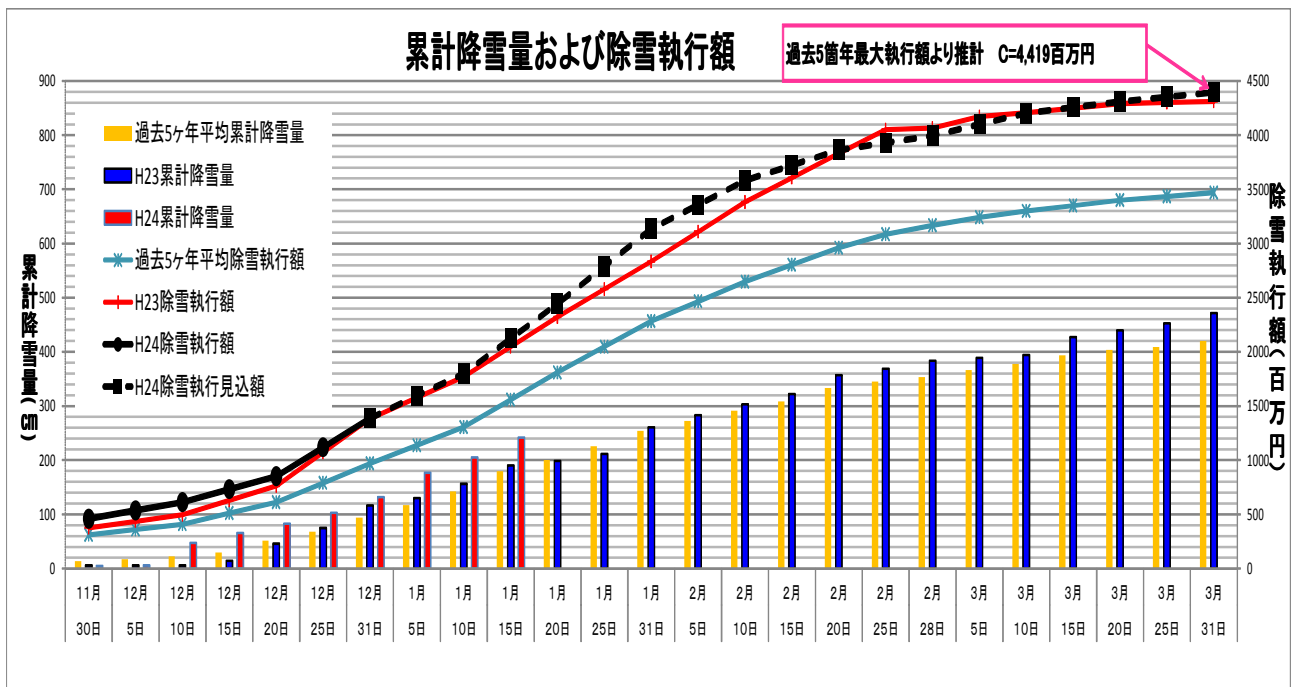
今冬は、降雪日数が多く気温の低い日が続き、積雪が解けないまま降り積もったことから、昨年12月中旬以降、指定雪量観測点4箇所平均の累計降雪量は過去5箇年平均を上回っている。このため、除排雪の出動が多くなり、除雪費は過去最多となった昨年度を上回るペースで推移している。

※指定雪量観測点4箇所：十和田南、鷹巣、秋田、横手

2. 除雪費の執行状況

- ・今年度当初予算は、約38億円を計上している。
- ・12月末までの執行状況は、約14億円となっている。
- ・12月末までの執行額とその後の過去5箇年最大執行額から推計すると、全体で約44億円と見込まれることから、6億円の不足が生じるものと予想される。

① 当初計上予算額	3,819百万円
② 12月末までの執行額	1,387百万円
③ 今後執行見込み額	3,032百万円
④ 決算見込み額(②+③)	4,419百万円
⑤ 不足見込み額(④-①)	600百万円



3. 予算の補正

- ・不足見込み額600百万円の補正を提案する。

平成25年2月補正予算案の概要について

平成25年2月13日
河川砂防課

1. 補正予算の概要について

国の「経済危機対応・地域活性化予備費」を活用した大規模災害に備えた防災・減災対策等として、河川整備を推進する。

2. 主な事業の内訳について

(金額単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	事業箇所
広域河川改修事業	53,300	護岸工	田沢湖 (仙北市)
国直轄河川事業負担金 (事業費)	29,000 (150,000)	築堤工	雄物川上流 (大仙市)

3. 主な事業内容



広域河川改修事業 田沢湖 (仙北市)
護岸工



国直轄河川事業 雄物川 (大仙市)
築堤工

平成25年2月補正予算案の概要について

平成25年2月13日
港湾空港課

1. 補正予算の概要について

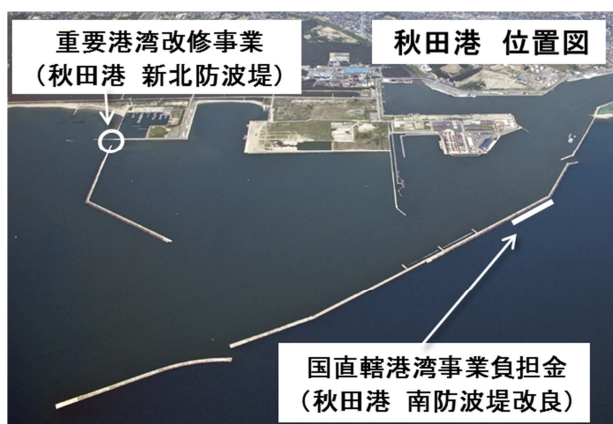
国の「経済危機対応・地域活性化予備費」を活用して静穏度向上を図るための防波堤の延伸等、港湾整備を推進する。

2. 主な事業の内訳について

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	事業箇所
重要港湾改修事業	198,140	防波堤工	秋田港 (新北防波堤)
海岸浸食対策事業	41,500	離岸堤基礎工	本荘港 (水林地区)
国直轄港湾事業負担金 (事業費)	73,590 (220,000)	防波堤改良工	秋田港 (南防波堤改良)

3. 主な事業内容



重要港湾改修事業 秋田港 (新北防波堤) 防波堤工

国直轄港湾事業 秋田港 (南防波堤) 防波堤改良工

海岸浸食対策事業 本荘港 (水林地区)
離岸堤基礎工

平成24年度空港維持管理費（除雪費）の補正について

平成25年2月13日
港 湾 空 港 課

航空機の安全で円滑な運航を確保するため実施している空港除雪業務について、これまでの執行状況と今後見込まれる所要額を考慮し、事業費を増額補正する。

1 降雪状況

- (1) 1月20日時点での累積降雪量は、秋田空港で438cm（過去5ヵ年平均251cm）、大館能代空港で302cm（過去5ヵ年平均227cm）に達している。
- (2) 仙台管区气象台による向こう1ヵ月、2月第3週までの天候見通しでは、平年よりも降雪量が多く、気温も低い確率が高いと予想されている。

2 除雪費の見込

- (1) 平成24年度除雪費として、当初は空港維持管理費約8億2千万円のうち、約2億1千万円を予定していた。
- (2) 今年度の降雪量は、平年を大幅に上回って推移しており、今年度の除雪費を、当初の約2億1千万円に対し、過去最大規模の平成18年豪雪並の約3億8千万円と推計すると、約1億7千万円の不足が見込まれる。

3 補正額について

- | | |
|----------------------|------------|
| (1) 空港維持管理費 | 822,890千円 |
| 【内、当初除雪予定額 | 210,951千円】 |
| (2) 空港維持管理費見込み額 | 989,583千円 |
| 【内、除雪見込み額 | 377,644千円】 |
| (3) 補正額 (2)－(1) | 166,693千円 |

住宅リフォーム推進事業の債務負担行為の設定について

平成25年2月13日
建 築 住 宅 課

1 住宅リフォーム推進事業の継続

県内経済の下支えと居住環境の向上のため、引き続き事業を継続することとし、事業開始から3年間の利用状況や今後の需要の見込みを踏まえて制度の見直しを行う。

○ 見直しのポイント

- 1) 限度額を15万円（一定の要件を満たす場合は20万円）に引き下げる。
- 2) 一定の要件を、耐震等工事の合計が「全体の1／2以上」から「50万円以上」に緩和する。

2 事業概要

- 1) 補助内容 住宅の増改築・リフォームで、県内に本店を置く建設業者等が施工するもの（工事費が50万円以上、設備機器購入のみの場合は除く）
- 2) 補助率 補助対象工事費の10%、**限度額15万円**
ただし、耐震上有効な改修、断熱化・省エネ改修、バリアフリー改修、**克雪改修の工事を50万円以上実施した場合は、限度額20万円**

3 募集戸数 11,000戸

4 債務負担行為設定額 1,412,306千円
 [補助金 1,390,000千円
 ・緊急雇用基金活用臨時職員賃金 22,306千円]

※参考

これまでの実績とH25年度の予測

	戸数 (戸)	補助金 (千円)	工事費 (千円)	工事費の構成割合 150万以下
H22 実績	13,996	1,996,302	29,936,505	51.8%
H23 実績	13,416	1,828,009	26,350,336	55.6%
H24 実績	12,212 (11,310)	1,611,889 (1,508,480)	23,150,946 (21,965,075)	58.1%
H24 見込	(12,050)	—	—	—
H25 見込	11,000	1,390,000	—	62%

※平成24実績はH24.12月末現在（安全安心リフォームを含む）、（ ）内は暴風被害を除く実績

- 申請戸数や工事費が年々減少しておりH25年度はH24年度見込の10%減と見込まれる。

トンネル内の附属物点検について

平成25年2月13日
道 路 課

1. 点検の背景について

平成24年12月2日に発生した中央自動車道「笹子トンネル」の天井板崩落事故を契機に、「トンネル内の附属物一斉点検」を全国的に実施することになった。

2. 点検状況について

今年度の点検は、県管理トンネル85箇所のうち、冬期閉鎖中9箇所を除く76箇所を対象として実施している。

具体的な点検方法としては、各トンネルの附属物について高所作業車を使用して近接し、目視による腐食・劣化、ハンマーでの打音による取付ボルトの異常、触診による緩み等の確認を行っている。平成25年1月末時点で14箇所の点検を実施済みで、特に不具合は確認されていない。



○トンネル内照明灯点検
〔(主)二ツ井森吉線 たたらトンネル〕



○トンネル内照明灯点検
〔二ツ井森吉線 たたらトンネル〕



○トンネル内壁の内装板
〔(一)きみ后坂藤里峡公園線 きみ后坂トンネル〕



○ジェットファン取付部の点検
〔国道108号 仙秋鬼首トンネル〕

3. 今後の予定について

点検については、平成25年3月上旬の完了を目途に進めている。